



明石市立江井島中学校通信

しまっこが宝

令和2年
(2020年)
9月28日
第14号

学校長 植垣 文夫

第42回体育大会校長あいさつ文 (2020年9月12日(土))

全校生徒のみなさん、おはようございます。

PTA本部役員、保護者の皆様、青少年補導委員会の皆様におかれましては、お忙しい中ではございますが、早朝より、本校体育大会においでいただきましたこと、また、平素から本校の教育活動にご支援いただいておりますこと、高い処からではございますが、お礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、本年度の体育大会は、市内13中学校で共通理解を図りながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努め、時間内に収まる競技種目を考案し、練習につきましても、安全かつ効率的に進めてまいりました。

今年のスローガンは「個性×団結＝笑顔 ～体育大会方程式～」です。

学校教育目標「誇りを胸に 生きる力を育む」とともに、生徒のみなさんは心に刻んで、今日を精一杯、過ごしてください。みなさんのすばらしい演技を期待しています。

以上をもちまして、開会のあいさつといたします。

令和2年 9月12日 江井島中学校長 植垣 文夫

山陽電気鉄道株式会社鉄道事業本部鉄道営業部長様からのお願いについて

(令和2年9月16日)

9月17日の朝の学級活動時に担任の先生から生徒のみなさんにお話があったと思いますが、山陽電気鉄道株式会社様は、公共交通機関の重大な使命である安全輸送のため、保安設備の向上や踏切道の設備、社員教育の徹底等に日々努力されています。その目的を達成するためには、沿線住民の理解、協力が不可欠であります。そこで、今回は以下のことを生徒の皆さんに周知いただきたいとのことで来校されました。

以下、依頼文書よりの抜粋です～

1. 踏切のくぐり抜けは絶対にしないこと。

(警報器が鳴り始めたら、踏切内に入らないようにしてください。)

2. 線路内への立ち入り、レール上への置き石は絶対にしないこと。

(線路内は大変危険です。また、置き石は大きな事故の元になります。)

以上、日常からのご指導に加えて、ご家庭においても保護者の皆様よりご指導いただけるようご配慮いただければ幸いと存じます。また、最近、踏切や駅のホームに設置してい

る非常ボタンをいたずらで押される行為が多く発生しています。こうした行為は電車の運行に支障を来す行為であり、むやみに非常ボタンを操作することのないよう、あわせてご指導のほどお願い申し上げます。

はなはだ、恐縮ではございますが、鉄道の安全運行確保の趣旨をご理解いただき、また、事故防止のため、なにとぞご協力賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

地域の方の情報提供について (2020年9月18日(金))

地域の方から学校に情報提供がありました。民家の近くの空き地をショートカットするために、備え付けてあるフェンスを乗り越える生徒がいるとのこと。空き地になっていますが、所有者のいる人の土地です。他人の土地には無断で入ることはできません。ちょうど腰の高さくらいのフェンスを乗り越えるそうですが、体重をかけて飛び越えるのでフェンスの基部がぐらついてきているそうです。何気ない気持ちで繰り返している人がいましたら、フェンスを乗り越える行為はやめましょう。先日は、自分の背負っている鞆を下ろして、フェンスの向こうに放り投げてから、フェンスを乗り越えていたそうです。大事な鞆が傷みますね。自分の持ち物も大切に使用していただきたいですね。

着こなし講習 (2年生) (2020年9月24日(木))

コロナ禍の影響で、2年生の「トライやる・ウィーク」が、6月から11月下旬に行われることになりました。1日だけの取り組み(ワンディ・トライやる)で、事業所のみなさんに生徒からインタビュー活動を行います。事業所のみなさんに江井島中学校の生徒として、よりよい印象をもっていただけるように「着こなし講習会」を開催しました。菅公(カンコー)学生服の栗岡さんを講師にお迎えし、制服の目的、着こなしの印象などを教えていただきました。なぜ、制服を着ているのか、その答えは、①ある一定の集団の役割、所属、階級を表すため。②安全性を確保するため。アメリカ合衆国では制服を導入したことで学校犯罪が激減したそうです。また、人の脳は一度認識すると強く固定される傾向があります。第一印象で固定されるのです。第一印象はわずか3秒間で決まるそうです。印象を受ける3大要素は、①話の内容、②話し方、③見た目だそうです。その割合は、①:7%、②:38%、③:55%という数値も驚きでした。自動車産業界に本田宗一郎というすばらしい創業者がいました。彼はこう言ったそうです。「中身も大事だが、外見がよくないと車は売れない。」兵庫県発祥の「トライやる・ウィーク」は生きている最前線を学ぶ機会です。さらに、「ルール」ではない「マナー」は、人への思いやりから生まれるものです。周囲を思いやる気持ちから生まれます。社会が求める人材とは、①当たり前前の方が当たり前前にできる人、②「マナー」が守れる人、③元気な声であいさつができる人だそうです。今の江井島中のみなさんなら3つすべてを満たしていませんか。今年の「トライやる・ウィーク」は、1日だけの活動ですが、江井島中学校の生徒として、しっかり活動できますように、そして、すばらしい着こなしで事業所訪問できますように願っています。